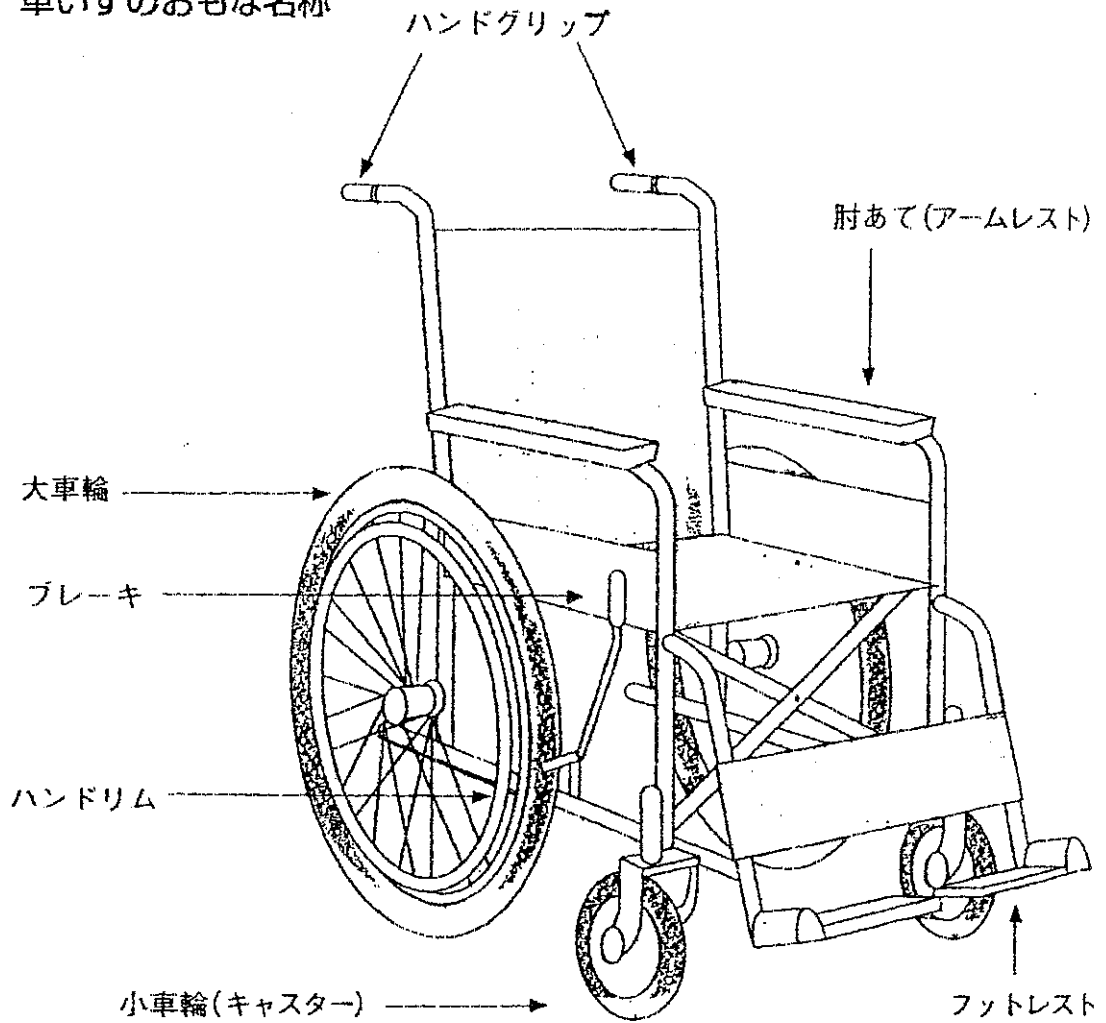




# 車いすの介助の方法

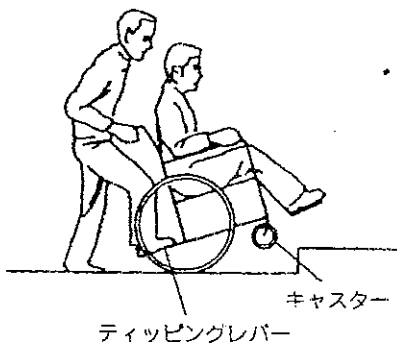
## (1) 車いすのおもな名称



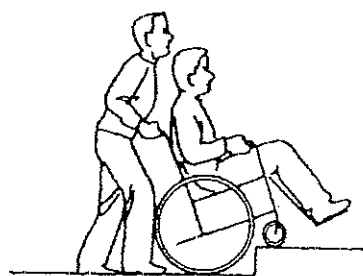
## 〔段差越えの一例〕

### (1) 上がる時 (前向き)

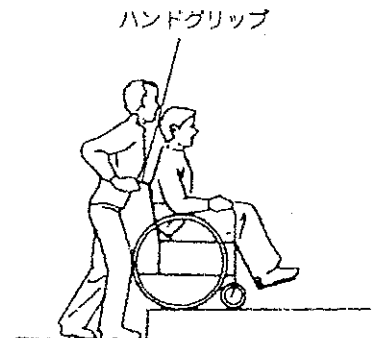
①車いすを後方に倒すようにしてキャスターを上げる。この時、ティッピングレバーを踏むと容易。



②前進してキャスターを段に乗せる。



③ハンドグリップを持ち上げて後輪を段に押し上げる。

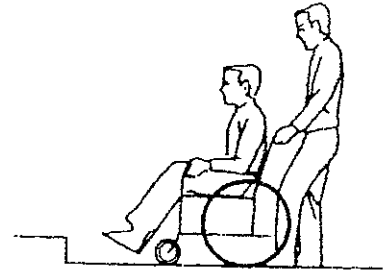
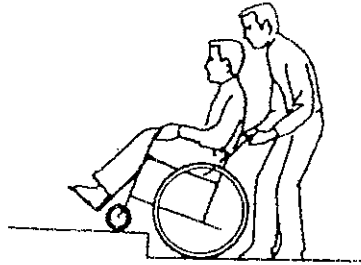
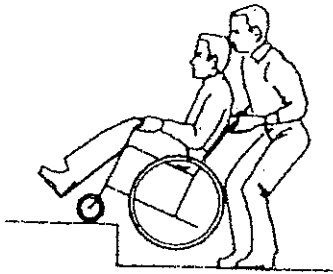


## (2) 下がる時 (後向き)

①ハンドグリップを持ち上げて後輪をゆっくり段から下ろす。

②キャストターを上げて後に引く。この時ティッピングレバーを踏むと容易。

③キャストターをゆっくり下ろす。



### [みぞ越えの一例]

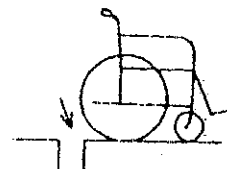
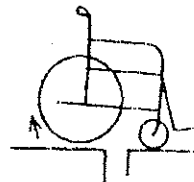
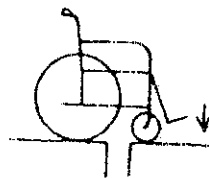
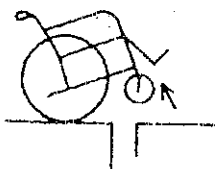
「1」の段差越えの上がる場合 (前向き) と同じような要領で行います。

①キャストターを上げる。

②キャストターを下ろす。

③後輪を浮かせる。

④後輪を下ろす。



### [階段の上り、下りの一例]

[注意] 車いす利用者に関して、安定のよい方法を取りましょう。

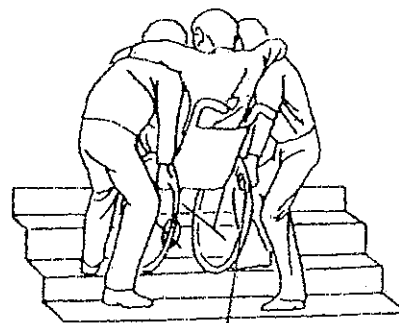
#### (1) 車いすごと抱えて上がる (下りる) 場合

<4人の場合>

- ①ブレーキをかけておく。
- ②援護者は、左右から均等に、車いす構造部、ハンドリム部を保持して持ち上げる。
- ③上がる時は前向き。下りる時は後向き。
- ④一段ずつ、タイミングを合わせてゆっくり上がる (下りる)。
- ⑤車いす利用者は、援護者の首や肩に手を回して保持すると、バランスが取りやすい。

<2人の場合>

- ①ブレーキをかけておく。
- ②車いす利用者は、援護者の肩に手をかける。
- ③援護者は、車いすのフレームやハンドリム部を保持して持ち上げる。
- ④一段ずつ、タイミングを合わせてゆっくり上がる (下りる)。



ハンドリム